

## 下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和元年度 第4回公民館運営審議会  
日 時 令和元年12月19日(木) 午後1時30分～2時40分  
場 所 国分寺公民館 101会議室  
出席者 委員長 小林 淳子  
委員 石崎 雅也、青木 浩美、石田 節男、兼丸 起子  
館野 紀子、津野田久江、谷萩 昌道、齋藤 昌枝  
石川 常国、大柿未央子  
欠席者 副委員長 小貫シゲ子  
委員 長岡 政秋、石崎 勝二、石川 美和  
市側出席者 教育長 池澤 勤  
生涯学習文化課長 手塚 芳子  
国分寺公民館長 齋藤 光利  
南河内公民館長  
兼 南河内東公民館長 山内 隆匡  
石橋公民館長 福島 正弘  
生涯学習推進グループ課長補佐 浅香 治幸  
社会教育主事 漆原 聡  
市側欠席者 南河内東公民館主幹 櫻井亜佐美

公開・非公開の別 ( 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 )  
傍聴人 0人  
報道機関 0人  
議事録(概要)作成年月日 令和2年1月18日

議 案  
(1) 公民館評価マニュアルについて  
(2) その他

その他

## 議事内容

### (1) 公民館評価マニュアルについて

小林委員長	あいさつ
池澤教育長	あいさつ
小林委員長	議題に沿って進める。 審議事項「公民館評価マニュアルについて」事務局からの説明をお願いしたい。
事務局	公民館評価マニュアル（資料）に基き説明。 昨年の公民館運営審議会委員の指摘に沿ったかたちで内部評価を記載するようにし、併せて各公民館講座での受入人数の修正も図った上で報告したい。
小林委員長	ただ今事務局からの説明で、インターネットに関すること、内部評価と外部評価双方とに「全体に関する意見等」の項目が入ってきた。事務局からの説明で何か意見はないか。
谷萩委員	20ページの全体評価は、職員が記載するのか。
事務局	4館それぞれの職員が記載する。
石田委員	15ページの評価項目アの3番目に「地域住民に対し、ボランティアとして学校への参加・参画を呼び掛ける等の助言を行っているか。」とある。公民館が地域住民に対して行うのは、難しいのではないか。去年の実績評価を見せてもらっても、「実績がない」との評価もあった。講座修了生とか受講生とかにした方が評価しやすいのではないかと感じた。
事務局	地域住民に対しての呼びかけが無い訳でもないので、項目は残したい。
石田委員	昨年、石橋公民館講座で学校へのボランティアを受講生に呼びかけているものがあつた。しかし、広く住民ということになると大変ではないのかと思った。
事務局	ご指摘の点は、公民館の職員や受講生全てを含めての意味と考えている。実績・成果については、記載後、各館長が集まって話し合いを持ち、項目ごとに統一した意見のもと、表現を工夫しながら記載をしていきたい。
池澤教育長	石田委員が言っているのは、「地域住民」といった漠然とした表現ではなく、「公民館受講生」といった具体的な表現にした方が良いのではないかと思うが。
石田委員	前回、実績を見た際に「実績なし」とあつたのが多かつたので、具体的にした方が、内部評価しやすいのではないか。
事務局	表現を改めさせていただき、次回の会議でお示ししたい。
兼丸委員	講座で立ち上げたボランティアだけでなく、一般の方にも声かけをしているので、表現を変えなくても広い意味から良いのではないか。
石田委員	公民館の立場から内部評価をするにあたって、やり易いと思った意見を言ったものであり、今のご意見で結構である。
事務局	社会教育指導員の中には、地域学校協働活動推進員を兼務している方が3地区に各1人ずついるが、講座のみならず地域との係わり合いにつ

小林委員長 石田委員 小林委員長 各委員 小林委員長	<p>いて、公民館としても前面に打ち出していかなければならない。私達も目標を高め設定していかなければならないと思っているので、兼丸委員の意見のとおりにして、公民館側も努力させていただければと思う。</p> <p>皆さんからも様々な意見が出たが如何だろうか。</p> <p>1ページ目の前文も良く、前回よりも分かり易い文章となっている。</p> <p>このままで宜しいということで良いか。</p> <p>異議なし。</p> <p>前回の評価で「実績なし」と記載した公民館があったが、私から見て「実施している」と思う公民館があった。「実績なし」とすると評価が下がるので、4館とも良く注意を払いながら実績を記入して欲しい。</p>
事務局	<p>前回の評価では、明確な意味でどこまでが実績となるかが分からない点があった。小林委員長側から見ると実績に入る事もあると思う。しかし、公民館側からすると「当たり前」と思っている点は、「実績なし」と記入していた点が、前回の評価では、各館であったと思う。今回の評価では、昨年度「実績なし」と記載した点も、検討した上で記載したい。</p>
谷萩委員	<p>実績はありのままに挙げてもらうのが良いと思う。その上での評価は、我々委員が行っていくことである。</p>
兼丸委員	<p>公民館側での努力をした点も言葉に添えて欲しい。そうすると評価がし易いと思う。</p>
津野田委員	<p>石橋地区に住んでいるので、他の公民館について不明な点もあるので、詳しく記載して欲しい。</p>
小林委員長	<p>前回の公民館点検・評価シートを提出してしまっているの、手元に残っていない。</p>
事務局	<p>ご希望の方には、前回のシートを次回の会議時にお渡ししたい。</p>
手塚課長	<p>公民館評価は努力義務として、翌年度の公民館事業の向上を図るために実施していくものである。中身がかえられない訳ではないので、今回はこれで実施させていただきたい。</p>
事務局	<p>本年4月18日（第3土曜日）までに、お近くの公民館まで評価シートを提出願いたい。次回の会議は毎年3月20日以降に実施しているが、教育長の日程調整後に案内したい。</p>
小林委員長 各委員	<p>マニュアルについては、以上で宜しいか。</p> <p>異議なし。</p>

## (2) その他について

小林委員長 事務局 齋藤委員	<p>次に(2)その他について、事務局、各委員から何かあるか。</p> <p>特に無し。</p> <p>公運審代表として市社会教育委員会議に出席している。同会議では「地域学校協働活動の具体的な取り組みについて」をメインテーマ、「地域の教育力の向上と地域における学校との協働体制の在り方について」をサブテーマとして、学校、地域、公民館、行政がそれぞれの立場でどのような取り組みが出来るかを話し合ってきた。来年3月頃、まとめた提言書を市教育委員会へ提出する予定である。会議の中で「公民館の立ち位置が非常に重要だ」ということを感じた。そして、より一層ハード・ソフト両面で公民館を充実させていくことが期待されているので、公民館の存在意義もしっかりとしていかなければならないと感じた。</p>
----------------------	---

<p>石田委員</p>	<p>下野市ウィンター活性化推進協議会としてボランティア代表の立場から公運審委員になっている関係で「ボランティアと学校とのつながり」について披露したい。グリムの森で毎年開催されているイルミネーション事業について、今年も10月14日から11月24日のオープンの日まで石橋中の美術部等の生徒に毎週土曜日に飾り付けに来てもらった。来年1月4日に撤収予定だが、去年は石橋中運動部120名程の生徒にボランティアとして来てもらった。石橋中に行き事業への協力を依頼しているが、石橋中生徒の協力がなく成り立たない事業となっており、協力に対して非常に感謝している。将来的には、小中学生が私たちのグループに入って一緒になって事業に取り組み「まちづくり」を進めていきたいと思う。ある小学6年生が「石橋中に入ったら美術部に入りたい。なぜなら、ボランティアとしてイルミネーションの飾りつけに参加出来るから」と答えていた話を伺い、非常に有難いことだと感じた。</p> <p>下野市公民館設置条例第4条に「公民館に（中略）館長を置き、主事その他必要な職員を置くことが出来る」とある。現在市内4公民館に主事は居ない。また公民館評価シートには「館長何人、社会教育指導員何人」とあるので、必要な職員は社会教育指導員なのだろう。今後、主事を置く考えはあるのか。石橋と南河内公民館内には、市民課窓口グループが配置されている。小山市の出張所のように兼務辞令を出してもらい、館長が窓口グループリーダーを兼ね、市民課窓口グループ職員の人件費で公民館主事を置いたら良いと思う。</p>
<p>手塚課長 小林委員長</p>	<p>機構改革がどうなるかという事もある。有難く意見を頂戴したい。他に無ければ、以上で議事を終了したい。</p>

閉 会